

# 青森県保健医療計画の見直しについて

## 1 策定根拠

- 医療法第30条の4の規定により、**都道府県は**、厚生労働省が定める「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るための基本方針」に即して、かつ、地域の実情に応じて、医療提供体制の確保を図るための**計画(医療計画)を定めることと**されている。

## 2 見直し時期等

- 現行の医療計画期間は平成25年から29年度の5年間。このため、**平成29年度中に現行計画を見直しの上、平成30年度からの新計画を策定**する。(これまで医療計画は5年ごとの見直しとされていたが、次期医療計画より、**6年ごと**に変更。)

## 3 新計画の内容

### (1) 国から示された指針等(H29.4.17付け青医第142号で医療審議会各委員へ配布済み)

- ① **作成指針**：医療計画策定にあたっての**作成の手順、留意事項**を示したもの  
(平成29年3月31日医政発0331第57号厚生労働省医政局長通知)
- ② **構築指針**：疾病・事業及び在宅医療ごとの**医療体制構築手順、求められる医療機能等に係る指針**を示したもの  
(平成29年3月31日医政地0331発第3号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

資料5-1

資料5-2

### (2) 新計画策定に向けた現行計画見直し等に関するポイント

- ① 二次医療圏の見直しの検討
- ② 基準病床数の再計算
- ③ 疾病・事業ごとのPDCAサイクル推進に向け、実績に着目した指標の設定
- ④ 5疾病の「急性心筋梗塞」の名称を「心筋梗塞等の心血管疾患」へ変更
- ⑤ **地域医療構想と介護保険事業計画と整合性**がとれるよう、都道府県や市町村関係者による**協議の場**を新たに設置
- ⑥ 国の検討会を踏まえた**医療従事者の確保策**に関する見直し

※ 青森県は「保健医療計画」として策定しているが、資料上は「医療計画」と標記している。

# 青森県保健医療計画の見直しについて

## 4 見直しに向けた基本的な考え方

- 前回と同様に、県医療審議会の下部組織である医療計画部会を中心に各種検討を行う。
- 5疾病5事業及び在宅医療に係る指標、医療連携体制等については、それぞれの対策協議会等において計画素案を検討する。  
特に在宅医療の体制については、県や市町村の医療・介護担当者等の関係者による協議の場を設置し、介護保険事業計画等における整備目標と整合的な目標を検討する。  
また、各保健所に設置している地域保健医療推進協議会において、圏域毎の課題や重点的取組について検討のうえ、その内容を計画素案に入れ込む。
- 指標の設定等については、平成28年度に実施した受療動向調査、医療機能調査の結果のほか、国から今後順次示される現状把握に関する各種指標等を活用する。
- 部内各課のGM等をメンバーとする医療計画策定ワーキンググループを設置し、各課(領域、事業)間の調整や進行管理など実務的な役割を担う。